



＜ケイ・スポーツBC・静岡硬式野球倶楽部＞10回2死一、二塁、宮澤が勝ち越しの右前打を放つ

第30回全日本クラブ野球選手権
大会東海地区静岡県予選
(4日 西ヶ谷)

ケイ・スポーツ東海切符

▽決勝
ケイ・スポーツBC
010302000012
1000500000178

静岡硬式野球倶楽部
(ケ) 平井、国本、永井
(静) 石川、実石、金田、栗城
▽二塁打 中矢、稲葉 (ケ)
杉村2、秋山 (静)

ツBCナインが勝利への意地を見せた。初回、5回と2度勝ち越されながらも追いつき、10回2死一、二塁

準決勝2試合と決勝が行われ、準決勝を勝ったケイ・スポーツBCと静岡硬式野球倶楽部が東海地区大会(8月4日、岡崎市民)への出場権を獲得した。決勝はケイ・スポーツBCが延長10回、8-7で勝ち、優勝した。準決勝でエースコンクラブを下し、東海切符を獲得して臨んだ決勝戦。02年のチーム結成からクラブチーム相手では県内負けなしのケイ・スポー

「次は勝ちたい」

＜静岡硬式野球倶楽部＞

準決勝で遠州トラック野球クラブに9-0で7回コールド勝ち。決勝では敗れたが打線が12安打で7得点を奪い得点力の高さを見せた。2試合で6打数連続安打を放ち敢闘賞に選出された杉村は「ケイ(スポーツBC)に勝つという目標がある。次は勝ちたい」と東海大会での雪辱を期していた。

から3番宮澤崇志一塁手(29)の右前打で決勝点。栗嶋務監督(45)は「選手たちがつなぐ意識を持ってやってくれた。負けるわけにはいかないという気持ちも強かった」。これまでは淡泊な攻めで好機を逃す場面が目立ったが、選手たちの勝利、得点への意識は試合ごと高まってきている。決勝で3安打を放ち、最優秀選手賞に輝いた田原知典左翼手(36)も「ベンチも含めて集中力が出てきている。勝てるチームになっている。優勝すれば2年連続の全国大会(9月、埼玉)出場が決まる。今年こそ日本一奪取へまだ負けるわけにはいかない。」

(吉田 太郎)

▽準決勝
遠州トラック野球クラブ
0000000000
1440000X90

静岡硬式野球倶楽部
(7回コールド)

(遠) 中嶋、山勢、中川
(静) 金田、栗城
▽三塁打 杉村2、石垣 (静)
▽二塁打 栗城、加藤大 (遠)

▽同
エースコンクラブ
000300
700501133

ケイ・スポーツBC
(6回コールド)

(エ) 島田、服部、小田、大村、望月浩
(ケ) 辰巳野、隈元、榊原
▽三塁打 大田 (ケ)